

# 講演会「揺れる思春期をのりこえるために」

—手をつなぎ知恵を出し合うことからヒントが生まれる—

講師:時森貴子先生(音更町立豊田小学校 養護教諭)

主催:オホーツクADHD&LD懇話会

- 趣 旨 軽度発達障害があるといわれる子どもたちの思春期の姿を知り、支援のあり方について考える。
- 日 時 2005年5月21日(土)14時00分~16時30分  
(13:30受付開始)
- 会 場 北見市芸術文化ホール(きた・アート21)大練習室  
〒090-0811 北見市泉町1丁目2-22
- 内 容 講 演 「揺れる思春期をのりこえるために」  
—手をつなぎ知恵を出し合うことからヒントが生まれる—  
講 師 時森 貴子先生(音更町立豊田小学校養護教諭)  
十勝ADHD&LD懇話会役員、特別支援教育士(LD・ADHD等)
- 参集範囲 保護者の方々 子どもたちへの教育・療育・保育に関心のある  
方々 軽度発達障害のある子どもの支援に関心のある方
- 参加費 (会員)500円 (一般)1,000円
- その他 参加申し込みの必要はありません 直接会場までお越しください
- お問い合わせ オホーツクADHD&LD懇話会 事務局(置戸小学校 市野)  
常呂郡置戸町置戸258 電話 0157-52-3850 FAX 0157-52-3856  
メール yhq01641@nifty.ne.jp  
保護者・お知り合いの方々にも広くご案内をお願いします

## 【時森貴子先生のご紹介】

講師の時森先生は、十勝懇話会で執筆された冊子で次のように書かれています。

……中学生という時期は、心も体も大人への大きな変化をする「思春期」のまっただ中にあり、性の目覚め、親からの自立、将来の進路選択など、いろいろな問題に直面します。どの子にとっても、精神的に大きく揺れ動く時期で、むずかしい時期の到来とも言えます。「思春期」をどう乗り越え、「中学校卒業後の進路」をどう考えるかが中学生にとって、とても大きな課題です。配慮を必要とする子どもたちにとってはなおさらのことで、「冬の時代」「氷河期」などと、その厳しさを表現する人がいるほどです。

……学力の差も目立つようになり、多くの場合、軽度発達障害のある子どもたちは授業についていくのが難しくなります。また、自信や意欲を失ったり、情緒が不安定になったり、対人関係のトラブルを起こしやすくなったりします。このような子どもたちを支えていくためには、親や担任だけでなく、子どもに関わる教師全てが子どもの困難さと能力を認め、適切なサポートを行うことがより大切になります。

……中学校における課題 (1)思春期をどうサポートするか

- 1)体の変化に対しては、タイミングを逃さずにできることをする。
- 2)心を許して話ができる同性の教師の存在が大切
- 3)自尊心を大切に育てる……

オホーツクADHD&LD懇話会は、教育・保育・福祉の連携により、子ども達に豊かな生活を送っていただくための支援を考えてきました。子どもたちのこれからを考えると、思春期の現状を理解しておくことも重要なことと思っています。

今回時森先生にご快諾をいただき、ご講演いただくことになりました。

この機会に子どもたちの思春期と対応について考えてみたいと思っています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。